

北欧デザイン研究所



所長 石井 敏 (建築学部 建築学科 教授)

北欧は政治、社会福祉、デザイン、教育など各分野で世界をリードする。根底にあるのは、「暮らし」を支える理念と制度にある。すべての人が心地のよい暮らしを送ることができるように、また一人ひとりが社会で自立し、活躍できるように社会が「デザイン」されている。北欧での生活の経験を持つ研究員の活動をベースとして、北欧の暮らしやデザインにある本質を追究し、今後の日本社会のあり方を考えるための一助とすることを目的とする。

研究キーワード

- 北欧 ● フィンランド ● デザイン ● 暮らし ● 生活 ● 福祉 ● 教育 ● 自立 ● 平等
- ムーミン ● サウナ ● 建築 ● プロダクト

研究内容

- 北欧デザインの魅力や価値を社会に発信。
- 学内外の研究メンバー共同で取り組むことができる研究テーマの検討と、その実践。
- 北欧に関わる講演会等の企画と実行。
- 北欧に関わる講演会等の各種企画、視察などの相談や助言、協力。
- 宮城県産業技術総合センター、仙台フィンランド健康福祉センター（公益財団法人仙台市産業振興事業団）、フィンランド大使館（フィンランドセンター）などと連携しながら、共同でシンポジウムや講演会を企画・実施。



サウナシンポ(2022/11)



フィンランドの建築家を招いての講演会開催(2019/5)の様子



研究所活動に関わる書籍

なぜ北欧が注目されるのか？

